

つなぐ つたえる 地域農業

妻有のきずな

十日町市農業委員会だより

2020年9月10日発行

No.29

十日町市農業委員会



あらたまや
高橋 真梨子 (27)

2015年に大地の芸術祭のインターンを通じて、松代地区訪平に移住。翌年専業農家の方とご結婚された真梨子さん。今年より、自家用米100%のおやつ「ポンせん」を生産、販売している。キャッチコピーは「おこめのおいしさを、もっと手軽にあなたのくらしに」。お米がなかなか売れにくくなった現状を前に、「お米を別の形にして、もっと地元の人に手軽に食べてもらえるように」とポン菓に挑戦。ポンせんは、生後6ヶ月から食べられ、家事や子育て、仕事に忙しい親御さんが、気兼ねなくお子さんにあげられると人気。素朴だが食べ飽きず、世代を問わず食べられるのも魅力。「ポンせんを通じて、気持ちにゆとりができ、くらしが楽しくなる人を増やしたい」とのこと。商品は、市内「自然の弁当七彩」(十日町市高山)のほか、右記QRコードより購入が可能。

お米の美味しさを
手軽に届けたい

あらたまや LINE@



新しい農業委員会、始まりました

今年度は委員改選の年です。このため 1 月末の募集開始から各種手続を経て、7 月 20 日に新農業委員 24 名が、7 月 27 日には新農地利用最適化推進委員 33 名が着任しました。7 月 27 日の農業委員会総会では、農地法等に基づく各種申請案件について、新体制で最初の審議が行われました。

また、8 月からは梅雨明け後の猛暑のなか、新委員による農地パトロールも始まっています。



地域の身近な相談役として

収穫の季節を迎え、皆様忙しい毎日をお過ごしのこととご推察いたします。

今年は新型コロナウイルス感染



会長

村山 隆義

症の世界的な大流行により、四月に緊急事態宣言が発出され、往來の自粛、学校の休校、飲食店などへの休業要請、祭り、イベントや会議などが予定どおり開催できなくなるといった未曾有の事態となっています。

農業においては、長梅雨、日照不足や高温など異常気象の影響により、生産者には厳しい環境が続いております。また、主食用米の需給の緩みにより先行きが懸念されており、農業経営にも厳しい環境であります。地域の身近な相談役として、農業委員会の役割を再認識して活動していきたいと思っております。

農業にとって厳しい時代を迎えるなか、会長に選出され重責に身の引き締まる思いでございます。これからも皆様の意見を聞き、地域農業の継続と発展のため、皆様とともに頑張りたいと思います。

農業に携わる皆様、関係機関や各種団体の皆様には、なお一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

農地を未来へつなぐ



会長職務代理

古高 悟

農業委員会活動に対し御理解を頂きまして大変ありがとうございます。

私は、この度の委員改選にあたり会長職務代理者に任命されました。中里地区に住み四十二年間、農業経営を行っています。

農業は一般的に重労働のわりに収入が少ないのが現状です。そのため後継者は減る一方です。しかし世界的に見ても異常気象の多発やバツタによる農作物の食害など食料の安定供給への不安材料がとて多くなっています。コロナウイルス発生直後のマスク不足のように食料が不足したら大変なことになると思います。今、私達にできることは作付け可能な農地を耕作放棄地にせず、農地として活用し未来へつなぐ農地を安定させて行くことかと思っています。微力ではありますが、三年間務めさせていただきまますのでよろしく願いたします。

農業委員紹介

任期 令和2年7月20日～令和5年7月19日まで

地域	氏名 (行政区)	任意部会	担当地区
十日町	 村山 隆義 (稲荷町3丁目南)	振興部会	十日町地区 高山 山本
川治	 長津 俊男 (川治内後第1)	情報部会	川治 妻有町 谷内丑 北新田 城之古 塚原町 八箇全域 六箇全域
中条	 庭野 喜由 (新座第3)	情報部会	新座地区 大井田地区
	 須藤 英雄 (中条島)	振興部会	中条地区 飛渡地区
下条	 近藤 正男 (原)	振興部会	下条地区全域
吉田	 佐野 幸男 (高島第1)	農政部会	吉田地区全域
水沢	 川田 正 (珠川)	農政部会	水沢 馬場 水沢市ノ沢 珠川 池ノ尻 大石 南雲 中在家 漆島 池沢 野中 鍬柄沢 当間
	 村山 太郎 (新宮第2)	情報部会	太田島 土市 姿 安養寺 幸町 新宮 伊達 大黒沢 小黒沢 天池 細尾
川西	 根津 徳男 (上野)	農政部会	上野 元町 新町新田 下平新田 小根岸 三領
	 小林 幹司 (中仙田)	農政部会	中仙田 室島 小脇 高倉 田戸 赤谷 岩瀬 大白倉 小白倉 大倉 藤沢 越ヶ沢
	 村越 益男 (野口)	振興部会	木落 塩辛 仁田 野口 四十歩 原田 根深 下原 寺ヶ崎
	 北村 公太郎 (山野田)	情報部会	中島町 山野田 南台 千手栄町 朝日 町 四郎兼 東善寺 千手上町 中央町 田中町 神社町 学校町 沖立 上新井 発電所通り 水口沢 中屋敷 寺尾 木島 伊友 高原田 坪山 霜条 鶴古 美咲町

地域	氏名 (行政区)	任意部会	担当地区
中里	 樋口 富行 (荒屋)	振興部会	小原 干溝 上山 田中 荒屋 山崎 通り山 桔梗原 芋川新田
	 島田 勝広 (倉俣)	農政部会	倉俣 原町 新里 芋川 重地 清田山 中里下山 田代 牧畑 小松原
	 古高 悟 (宮沢)	情報部会	高道山 朴木沢 宮沢 白羽毛 市之越 鷹羽 程島 東田尻 西田尻 西方 角間 津沢 小出 土倉 倉下
	 富井 公一 (如来寺)	情報部会	芋沢 田沢本村 東田沢 豊里 如来寺 桂 新屋敷 本屋敷 宮中 堀之内
松代	 若井 君男 (蓬平)	農政部会	蓬平 会沢 清水 桐山 犬伏 孟地 芋島 中子 片桐山 滝沢 小荒戸 太平 菅刈 松代田澤 松代 千年 青葉 池尻 池之畑 松代下山 海老 松代東山 小屋丸
	 菅井 太一 (名平)	振興部会	儀明 蒲生 寺田 小池 名平 田野倉 仙納 助平 室野 福島 奈良立 竹所 星峠 木和田原
松之山	 高橋 清一 (天水島)	農政部会	下布川地区 上布川地区 湯本 天水島 天水越
	 村山 浩一 (湯山)	振興部会	三省地区 黒倉 浦田地区 松之山 兎口 光間 湯山 川手地区 新山

農業関連団体等推薦委員				
区分	氏名 (行政区)	部会	担当地区	
中立委員	 樋口 則雄 (寿町4丁目)	情報部会		
農業関連団体推薦	 金澤 茂 (中条島)	農政部会		
	 水品 正幸 (新町新田)	振興部会		
	 重野 りえ子 (上鰻池)	情報部会		

役員	会 長	村山 隆義
	会長職務代理者	古高 悟
	農政部会長	若井 君男
	振興部会長	樋口 富行
	情報部会長	北村 公太郎

農地利用最適化推進委員紹介

任期 令和2年7月27日～令和5年7月19日まで

担当 地域名	氏 名 (行 政 区)	任意 部会	担当地区
十日町	 庭野 誠一 (十日町赤倉)	振興部会	十日町地区
	 小川 静夫 (浅之平)	振興部会	八箇地区
	 徳永 稔 (船坂)	農政部会	六箇地区
	 真霜 賢一 (城之古第1)	情報部会	高山 錦町 美雪町 桜木町 春日町 山本町 千歳町 寿町 河内町 川治 妻有町 谷内丑 北新田 城之古 塚原町 明石町
	 池田 征一 (塚田)	振興部会	太子堂 塚田 中条八幡 上原 上原新町 中条上町 旭ヶ丘 中町 背戸 下町 中条旭町
	 小川 正直 (尾崎)	農政部会	新座地区 大井田地区
	 宮内 隆和 (梅沢)	情報部会	中条島 中条峠 梅沢 中条新田 北原 市之沢
	 池田 太一 (嘉勝)	情報部会	飛渡地区

担当 地域名	氏 名 (行 政 区)	任意 部会	担当地区
下条	 小林 勉 (水口)	農政部会	貝ノ川 新保 水口 下条下山 新光寺 仙之山 平 瀧野 二子 願入 塩野 慶地
	 網 大介 (上新田第3)	情報部会	上新田 山際 原 廿日城 岩野 下条栄町 下条中央通り 桑原 野田 蟹沢 為永 下条本町 山根
	 小海 雅秀 (名ヶ山)	振興部会	稲葉 吉田山谷 小泉 樽沢 中平 名ヶ山
	 上村 晴彦 (南鑑坂)	情報部会	北鑑坂 南鑑坂 高島 鉢 中手
	 佐藤 三代治 (当間)	農政部会	水沢 馬場 水沢市ノ沢 珠川
	 金澤 拓男 (太田島第3)	農政部会	太田島 土市 新宮第1 姿 安養寺 幸町
	 樋口 倉蔵 (中在家)	振興部会	池ノ尻 大石 南雲 中在家
	 佐藤 正一 (当間)	農政部会	漆島 池沢 野中 鍬柄沢 当間
	 小海 輝忠 (小黒沢)	情報部会	新宮第2 伊達 大黒沢 小黒沢 天池 細尾

担当 地域名	氏 名 (行 政 区)	任意 部会	担当地区
川西	 村山 進一 (伊友)	情報部会	中屋敷 木島 伊友 高原田 坪山 霜条 鶴吉 美咲町
	 増田 利昭 (室島)	農政部会	中仙田 室島 小脇 高倉 田戸 赤谷 岩瀬 大白倉 小白倉 大倉 藤沢 越ヶ沢
	 山家 勝一 (木落)	振興部会	木落 塩辛 仁田 野口 四十歩 原田 根深 下原 寺ヶ崎
	 高橋 勝則 (千手上町)	振興部会	中島町 山野田 南台 千手栄町 朝日町 四郎兼 東善寺 千手上町 中央町 田中町 神社町 学校町 寺尾 沖立 上新井 発電所通り 水口沢
	 内山 浩樹 (新町新田)	情報部会	上野 元町 新町新田 下平新田 小根岸 三領

担当 地域名	氏 名 (行 政 区)	任意 部会	担当地区
中里	 桑原 朝平 (田代)	農政部会	芋川 倉俣 原町 新里 重地 中里下山 清田山 田代 牧畑 小松原
	 廣田 幸男 (小原)	振興部会	上山 田中 小原 干溝 荒屋 山崎 通り山 桔梗原 芋川新田
	 井ノ川 歩 (本屋敷)	情報部会	新屋敷 本屋敷 堀之内 宮中
	 村山 伸一 (田沢本村)	振興部会	芋沢 田沢本村 東田沢 豊里 如来寺 桂
	 村山 守 (程島)	農政部会	高道山 朴木沢 宮沢 市之越 鷹羽 白羽毛 程島 東田尻 角間 津沢 倉下 土倉 西田尻 西方 小出

農地利用最適化推進委員紹介

任期 令和2年7月27日～令和5年7月19日まで

担当 地域名	氏 名 (行 政 区)	任意 部会	担当地区	担当 地域名	氏 名 (行 政 区)	任意 部会	担当地区
松代	 佐藤 達次郎 (千年)	振興部会	芋島 中子 滝沢 片桐山 孟地 松代田沢 菅刈 太平 小荒戸 犬伏 池尻 青葉 千年	松之山	 相澤 成一 (水梨)	振興部会	松之山 兎口 光間 新山 上川手 下川手 湯山 水梨 小谷 大荒戸
	 山賀 巳喜夫 (松代)	農政部会	松代 小屋丸 池之畑 松代下山 会沢 清水 桐山 蓬平 松代東山 海老		 江口 隆雄 (曾根)	農政部会	黒倉 藤原 曾根 新田 上之山 湯之島 中立山 田麦立 月池 坂中 豊田 北浦田 西之前
	 宮原 大樹 (木和田原)	情報部会	田野倉 仙納 筋平 寺田 名平 蒲生 儀明 福島 奈良立 室野 竹所 星峠 木和田原 小池		 村山 幸夫 (坪野)	情報部会	湯本 天水越 天水島 藤倉 中尾 東川 上鰈池 下鰈池 五十子平 坪野 松之山赤倉 松之山東山

こんな時、お気軽にお声がけください！

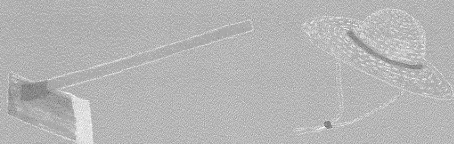
- ・農業をしたいとき・農地を農地以外にしたいとき・農地を売りたい、買いたいとき
- ・農地を交換したいとき・農地を貸したい、借りたいとき・農地の賃借契約を解約したいとき
- ・農業者年金に加入したいとき・全国農業新聞を購読したいとき
- ・その他、農地についての悩み事などご相談ください。

十日町市農業委員会事務局 組織図



農業者年金のご案内

60歳未満、国民年金第一号被保険者、農業従事日数60日以上なら、誰でも加入できます。詳しくはお近くの農業委員会またはJAへ！



5つの特徴

- ①一定要件を満たす担い手には、保険料を国が一部補助
- ②支払金額を2万～6万7千円の間で自由に決められる
- ③いつでも脱退、加入可
- ④原則65歳から生涯受け取れる。(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金として遺族に支払われる)
- ⑤積立式だから、自分の払った分が年金となる

積極的に発信



情報部会長
北村 公太郎

十日町市はU・Iターン(帰郷・移住)を支援し、さらに定住できるような施策を進めています。自分の周りにも地域おこし協力隊や大地の芸術祭の活動等を経て十日町に定住し、活躍している人たちが多くいます。

十日町の農業や里山環境に魅力を感じて**移住・定住を考える人の地域とのパイプ役＝農業委員**となるために、それぞれの地域はもちろん様々な農業のあり方を一緒に模索していきたいと思います。地域の人、環境の魅力を伝え、少しずつでも十日町農業のコアなファンを増やし、耕作放棄地解消や担い手不足解消に繋がればと考えます。

新体制での情報部会は**若手が多く**、それぞれの地域で活躍する夢と希望があふれる委員が集まりました。積極的に情報発信し、全国農業新聞も普及させつつ十日町農業を盛り上げて行きます。



農地のお悩み相談は、お近くの農業委員・
農地利用最適化推進委員・農業委員会事務局まで

十日町市農業委員会事務局

本局(中里) 763-2515(直通) 十日町事務所 757-3286(直通)
川西事務所 768-4951(地域振興課直通)
松代事務所 597-2222(農林建設課直通)
松之山事務所 596-3132(地域振興課直通)

発行 十日町市農業委員会(主管 情報部会)
印刷 総合印刷 アートプラザムラヤマ
編集デザイン 佐藤可奈子

今、思うこと



農政部会長
若井 君男

かつてない小雪で春を迎えようとした頃、新型コロナウイルスが流行しはじめて、未だに終息の気配が見えません。改選を迎えた当委員会も**感染予防対策をとりながら会議**が行われています。いつになったら元の形に戻れるのでしょうか。

昨秋より、事務局から新たな耕作者を探してほしいとの情報提供を4件程いただきました。地域の人達にいろいろ聞いたり、現地を見たりしましたが、なかなか耕作者を探す事ができませんでした。高齢化や担い手不足、圃場条件の悪さ等でなかなか難しいものがあります。

中山間地では我々に期待されている活動がなかなか思うようにいかず、農業委員としてどうしたらいいのだろうと思ってしまいます。

今回、農政部会長を仰せつかりましたが、皆様の御協力をいただき、任務を全うしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

自然の大切さ



振興部会長
樋口 富行

今年はコロナで世界中が混乱している中で、異常気象による豪雨で多くの人達が被害を受けました。コロナと異常気象は災害ではなく、もはや人災と思います。

世界中の環境団体が「地球が危ない」と警鐘を鳴らしていますが、世界のリーダー達は経済を優先して何もしてきません。

世界中に数万種類のウイルスが存在していると言われ、乱開発で数十年に一度の割合で人間に被害を与えています。医療関係者は今も必死にコロナと闘っています。その最中に国は、国民の生命と財産を守る為に、相手国の基地を攻撃できるミサイルが必要と検討しています。とんでもない事です。

今こそ、**農業や林業等を国の基幹産業と位置付け、自然を重視した政策**が必要です。山が荒れると里も荒れます。きれいな地球を未来に残しましょう。安全で安心して食べてもらい「美味しかったよ」と言われる農業を目指しています。

編集後記

農業委員会だより「妻有のきずな第29号」をお届けします。今年は3年に1度の委員改選の年で、7月20日に市長より農業委員24名が任命され、7月27日には農業委員会会長より農地利用最適化推進委員33名が委嘱されました。心機一転。新たな体制で農業委員会の活動を進めていきたいと思っています。

令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大、7月の豪雨災害と大変な状況が続いています。これ以上何か起こらないでほしいと思いながら稲の生育を見守っています。(事務局)